

2023年度

科目名称	プロフェッショナルスキル
授業コード	BG378
英語名称	
学期	2023年度後期
単位	1.0
担当教員	奥田 裕 (医療科学部), 中山 彰博 (医療科学部), 豊田 輝 (医療科学部)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	本講義ではProblem Based Learning (問題基盤型学習 以下、PBL) を用いて、理学療法の現場における事例・シナリオを体験することで、臨床能力として必要な思考過程が高められるように取り組む。特に、少人数でのグループ学習を行い、臨床で活用できる知識の習得、問題解決能力の向上、自己主導型学習態度の習得などのスキルの向上を目的としている。なお、臨床の現場で長年理学療法士として従事してきた経験を活かして、理学療法士が対象とする中でも代表的疾患（骨関節疾患、中枢神経疾患）について、病態の理解および理学療法評価、治療方法について教授する。
科目に関連する実務経験と授業への活用	臨床の現場で長年理学療法士として従事してきた教員が、その経験を活かして、各疾患の特徴や治療、および理学療法の組み立て方について理解を深めるよう講義する。
到達目標	代表的疾患（骨関節疾患、中枢神経疾患）に対する理学療法を進める上で、下記項目を習得する。 <ul style="list-style-type: none"> ・症例提示から大まかな病態を理解できる。 ・基本情報や基本動作などから、関連する理学療法評価が挙げることができる。 ・症例基本情報から考えられる、実施されるべき評価項目の目的と意義を挙げることができる。 ・提示された検査結果から各検査結果の解釈ができる。 ・提示された症例の統合と解釈（ICF表の作成、目標設定とプログラム立案）。 これを実現するため、カリキュラムポリシーにあるグループワークを中心としたアクティブ・ラーニングを展開する。また、これによって、ディプロマポリシーにある理学療法評価法・治療法の獲得、及び問題解決能力を達成することができる。
計画・内容	第1回 全体スケジュール・PBLの概要説明。担当：奥田,中山,豊田(全教員理学療法士) 第2回 グループワーク 症例1 基本情報提示（疾患調べによる病態理解）担当：奥田,中山,豊田 第3回 グループワーク（動作観察～問題点の抽出）担当：奥田,中山,豊田 第4回 グループワーク（動作観察～問題点の抽出）担当：奥田,中山,豊田 第5回 グループワーク（動作の問題点の整理）担当：奥田,中山,豊田 第6回 グループワーク（動作の問題点の整理）担当：奥田,中山,豊田 第7回 グループワーク（問題点の整理：ICF表作成）担当：奥田,中山,豊田 第8回 グループワーク（問題点の整理：ICF表作成）担当：奥田,中山,豊田 第9回 グループワーク（統合と解釈：目標設定,理学療法プログラム立案）担当：奥田,中山,豊田 第10回 グループワーク（統合と解釈：目標設定,理学療法プログラム立案） 症例2 基本情報提示（疾患調べによる病態理解）担当：奥田,中山,豊田 第11回 グループワーク（動作観察～問題点の抽出）担当：奥田,中山,豊田 第12回 グループワーク（動作観察～問題点の抽出）担当：奥田,中山,豊田 第13回 グループワーク（動作の問題点の整理）担当：奥田,中山,豊田 第14回 グループワーク（動作の問題点の整理）担当：奥田,中山,豊田 第15回 グループワーク（問題点の整理：ICF表作成）担当：奥田,中山,豊田 第16回 グループワーク（問題点の整理：ICF表作成）担当：奥田,中山,豊田 第17回 グループワーク（統合と解釈：目標設定,理学療法プログラム立案）担当：奥田,中山,豊田 第18回 グループワーク（統合と解釈：目標設定,理学療法プログラム立案）担当：奥田,中山,豊田 第19回 グループワーク（最終発表準備）担当：奥田,中山,豊田 第20回 グループワーク（最終発表準備）担当：奥田,中山,豊田 第21回 最終発表（症例1 or 2の理学療法プログラムの実技プレゼンテーション）担当：奥田,中山,豊田 第22回 最終発表（症例1 or 2の理学療法プログラムの実技プレゼンテーション）担当：奥田,中山,豊田 第23回 最終発表（症例1 or 2の理学療法プログラムの実技プレゼンテーション）担当：奥田,中山,豊田 第24回 最終発表（症例1 or 2の理学療法プログラムの実技プレゼンテーション）担当：奥田,中山,豊田

2023年度

授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の進め方 症例提示後、グループワーク（学生間ディスカッション）を中心に行う。 ディスカッションの途中で公開型の質問を受け、教員から回答を与える。
能動的な学びの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、学習のポイントの確認とその解説を行い、理解度の振り返りを行う。 ・学生への質問も活発に行う予定なので、積極的な授業態度が期待される。
授業時間外の学修	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時間外学習(合計60時間程度) 予習：指示がある場合はそれに従う。 指示のない回は、タイトルまたはキーワードに関して基本的な理解を得ておくこと 復習：グループディスカッション内などで書き留めたメモをまとめ、ノートを作る。
教科書・参考書	<ul style="list-style-type: none"> 教科書：特になし 参考書：特になし
成績評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> ・成績評価方法と基準 提示された症例に関するグループ発表（40%）、レポート（60%）
課題等に対するフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、グループ単位での課題提出があり、学生の共通する疑問点等について次回の講義でフィードバックを行う。
オフィスアワー	Campus Squareを参照
留意事項	グループディスカッションのため、欠席をしないように留意する。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<ul style="list-style-type: none"> 授業の進め方 ・Zoomによるオンライン授業と課題学修を組み合わせる。 成績評価方法 ・提示された症例に関するグループ発表（50%）、レポート（50%）